

科目名	専門演習 II A	
担当者	牧野 高志 / MAKINO, Takashi	
科目情報	法ビジネス / 選択 / 前期 / 演習 / 2 単位 / 4 年次	
科目概要	授業内容	判例研究発表と全体での質疑応答で進めていくが、ゼミ生の意見も取り入れつつ、臨機応変に様々な方法を試していきたいと思う。判例は、教員の示す一定の範囲からゼミ生自らが関心のあるものを選択し、条文・制度趣旨等の基本事項の確認や、争点となった論点等に関しての判例の見解・学説・自説等を、発表担当者の作成したレジュメをもとに発表してもらう。
	到達目標	講義などで習得した知識をベースに、民法のより深い理解が身につくとともに、リサーチ能力、プレゼン能力、およびディベート能力が身につくことを目標とする。
授業計画	(1)	オリエンテーション(グループ分け、研究テーマの指示、順番決定等)
	(2)	ゼミ生の研究発表と質疑応答
	(3)	〃
	(4)	〃
	(5)	〃
	(6)	〃
	(7)	〃
	(8)	〃
	(9)	〃
	(10)	〃
	(11)	〃
	(12)	〃
	(13)	〃
	(14)	〃
	(15)	前期講評
自学自習	事前学習	各自積極的に議論に参加できるよう予習は欠かさずに行うこと。
	事後学習	ゼミで学んだことは必ず復習すること。
使用教材・参考文献	【教】奥田昌道ほか編『判例講義 民法 I 総則・物権(補訂版)』悠々社 2007年 ISBN 9784946406911 奥田昌道ほか編『判例講義 民法 II 債権(補訂版)』悠々社 2007年 ISBN 4946406921	
	【参】内田貴著『民法 I ~ III』東京大学出版会、近江幸治著『民法講義 I ~ IV』成文堂 潮見佳男ほか編『民法判例百選 I 総則・物権』有斐閣 2009年、 潮見佳男ほか編『民法判例百選 II 債権』有斐閣 2009年	
成績評価方法と基準	研究報告内容、議論への参加度、授業態度等を総合評価する。	
備考	親睦会などのイベント行事は、ゼミ長を中心となってゼミ生の総意により企画運営を行ってください。	